



## 「未来の日本語学習環境を考える」

新しい学習環境のデザインを事例から学び、  
学習支援ツールを使った授業を体験してみ、  
新しい日本語学習環境をデザインしてみよう！

新しい学びを支援するための様々な事例について知り、学びを支援するツールを活用した授業を実際に体験します。そして、参加者の方の興味・関心に応じてグループに分かれ、新しい日本語学習の環境をデザインしてみます。

◆日時と内容：2009年2月21日（土）10：00～17：00

10:00-12:00	<p align="center"><b>新しい学習環境・ケーススタディ</b></p> <p>3つの事例に基づいて、新しい学びの支援のあり方について考えます</p> <p>事例1：ICT支援型協調学習教室、<a href="#">駒場アクティブラーニングスタジオ (KALS)</a></p> <p>事例2：NHKアーカイブスの映像を利用した教育支援ソフト「<a href="#">MEET Video Explorer</a>」</p> <p>事例3：企業向けモバイル英語リスニング教材「<a href="#">なりきりEnglish!</a>」</p> <p align="center"><b>インタラクティブ・ディスカッション</b></p> <p>参加者同士、講師と参加者の皆さんで、活発なディスカッションを行います</p>
12：00～13：00 昼食	
13:00-14:30	<p align="center"><b>批判的読解力を育成するためのTablet PCソフトウェア</b></p> <p><a href="#">MEET eJournalPlus</a>を使った「クリティカルに読んで書く」体験授業</p> <p>日本人を対象に開発されたソフトウェアを日本語学習に活用した授業を体験します</p> <p>*MEET eJournalPlusは、オープンソースのフリーソフトウェアでダウンロードできます</p>
14：30～15：00 休憩	
休憩中に、福武ホールオプションツアーを予定しています	
*福武ホールは、安藤忠雄氏の設計によって建築され2008年度グッドデザイン賞を受賞しました	
15:00-16:00	<p align="center"><b>新しい日本語学習環境をデザインしてみよう</b></p> <p>参加者の皆さんの興味・関心によってグループに分かれ、 新しい日本語学習環境のデザインを行い、グループごとに提案します</p>
16:00-17:00	<b>ポスターセッション&amp;講評</b>

◆対象：新しい学習環境の事例について情報収集したり、その背後にある学習理論について知りたい方  
自由な発想で、多様な参加者の方や講師とともに、新しい日本語学習環境について考えてみたい方

◆講師：山内祐平（東京大学大学院情報学環 准教授）

◆体験授業 協力者：池田玲子（東京海洋大学 教授）、望月俊男（専修大学ネットワーク情報学部 講師）

◆コーディネーター：島田徳子（国際交流基金日本語国際センター 専任講師）

◆**会場**：東京大学 本郷キャンパス情報学環・福武ホール（赤門横） 福武ラーニングスタジオ（B2F）

**アクセス** 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

◆**定員**：40名 ※原則として先着順とさせていただきますが、応募者多数の場合は、1機関の参加者を限定させていただきます場合がありますので、ご了承ください。

◆**受講料**：一般 5000円、会員 4000円、学生 3000円 ※払い込まれた受講料はお返しいたしません。

◆**参考図書**：美馬のゆり・山内祐平(2005)『「未来の学び」をデザインする』東京大学出版会

◆**問い合わせと申込み**：社団法人日本語教育学会 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/menu-kenshu.htm>

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：[kyoshikenshu@nkg.or.jp](mailto:kyoshikenshu@nkg.or.jp)

参加申込書をダウンロードして、Eメール、FAX、郵便のいずれかの方法で日本語教育学会事務局まで送付してください。Eメールの場合、タイトルを「研修応募（学習環境）」としてください。

参加申込書のダウンロードはこちらからどうぞ ⇒

[MS Word](#)

[PDF](#)

※応募書類は返却いたしません。また、この募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

◆**締切り**：2009年1月23日(金) ※ただし、定員になり次第、締切り日以前でも募集を終了します。